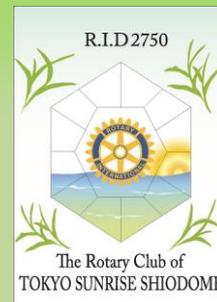


◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.会長 イアン・ライズリー

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2017-18年度 会長 山本教夫
クラブテーマ「ロータリーの楽しさを見つけよう」

No.153 21. Jun. 2018 発行

第148回 例会

【日時】2018年6月14日(木) 12:30~13:30 【例会場】ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留
【例会出席】会員数 16名(休会:1名) 名誉会員2名 【出席者】12名 ビジター 1名 ゲスト 0名
【出席率】80.0% 修正出席率】86.0%
【ニコニコBOX】¥12,250— 《今年度累計》 ¥379,680—

《プログラム》

◇ 開会点鐘

◇ 斉唱:「それでこそロータリー」

◇ 会長挨拶

先日、今年度最後のクラブ会長・幹事会が有り、ガバナー補佐から年間報告と期を通じたガバナー賞表彰が有りました。森村ガバナー補佐より「小さいクラブでもしっかり活動している所が有り、千代田グループは良い活動が出来た」とのコメントが有り、我がクラブの事と聞いていました。皆さんのご協力の賜です。

◇ 幹事報告

クラブ会長・幹事会にて表彰を受けました。RIから『ポールハリスフェロークラブ』をガバナー特別賞として『ポリオ撲滅チャリティーコンサート』ガバナー賞として『関上地区支援活動』『インドネシアチャリティーコンサートと施設の寄付活動』『植樹達成』を頂きました。

司 会: 工藤至善会員

山本教夫会長

梅澤武男ソングリーダー

山本教夫会長

立堀佳男幹事



ポールハリスフェロークラブ



鹿島会員 立堀幹事 山本会長 梅澤前会長

◆会長: 山本教夫 ◆幹事: 立堀佳男 ◆副会長: 愛知とし子【発行責任者】山本教夫

【創立】2014年10月15日 【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテルザ汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ 委員会報告

山本直道 PBG 委員長：ミクロネシア補助金に関して、財団委員より無事地区補助金が下りることになりました。理解を示して下さっていた方達のご協力により通った次第ですが、来年から少し考えなければいけない点が出て来ましたので、奉仕活動はしっかりしていかなければいけないと思いますので、引き続き皆様のご協力をお願い致します。

岩田美智恵会員：チューク行きの便がエア・ニューギニアで出ることが確定しておりまして、そのお知らせに参りました。キャンペーンもやっているようですので、行かれる方のお耳に入れておきたいと思えます。

◇ 出席報告

鹿島孝夫会員

◇ ゲスト・ビジター紹介

木村圭仁朗様(志摩 RC)：この後、この近くで会議が有りまして、突然お邪魔して申し訳ありません。私は以前サミットが行われた三重県の伊勢志摩で仕事をしております。サミットの時は色々苦労しまして警備等の事からその前後に観光客が途絶えるという事に見舞われましたが、良い経験でした。全体をみれば三重県としては賢島にサミット記念館を創りまして、会議で使用した尾鷲ヒノキで作った円卓が置かれていますので、是非ご覧になりいらしてください。入場は無料です。

◇ ニコニコボックス発表(敬称略)

湯川愛里会員

山本教夫：一昨日の会長・幹事会ではしっかり会員の皆さんの活動を 2750 地区に伝える事が出来ました。有難うございました。

立堀佳男：最近仕事もしないでロータリーばかりです。先週は火・水・木・金・土曜日までロータリーでした。

梅澤武男：湯川さん、本日の卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。

湯川愛里：今日は卓話を聞いて頂きます。意味不明の職業分類(特殊ガラステクノロジー)の一端を紹介させて頂きます。

熊谷行裕：今日は地震情報です。最近長野で何度か大き目の地震が有りましたが、今回が本物だと思います。2年以上続いた「あずみ」のデータが急に収束しました。松本中心にかなり大きな地震の発生の可能性が有ります。今週末から来年初めまでご注意ください。

山本直道：チュークの補助金申請、やっと通りました！ご心配おかけしました～。

岩田美智恵：何とか間に合いました。

木村圭仁朗様(志摩 RC)：今日はお世話になります。

◇ 卓話 『超巨大天体望遠鏡時代の到来』

湯川愛里会員

現在世界には 40 数基の巨大天体望遠鏡を搭載した天文台があります。そのほぼ半数がチリのアンデス山脈と、ハワイのマウナケア山頂といった年間を通して晴天が続く環境で湿度も低い地形を選んで造られています。最近人口増加により南アフリカや北米大陸での観測が難しくなってきたこともありまして、それを補うために宇宙望遠鏡が出て来ました。ただ、こちらもち打ち上げに関して計画が遅れています。理由はスペースシャトル計画が終了して以降修理が不可能となり、慎重に慎重を重ねているのです。莫大な費用が掛かる上にリスクが高いことも遅れの要因のひとつです。そこでこれに匹敵する機能を持たせたものが超巨大天体望遠鏡です。特徴としては地球上からの大気や気象条件での揺らぎを取り除くためアクチュエーターというつつかえ棒のようなものを主鏡の後ろに置き、揺らぎを極力抑えた映像を映し出す事が出来る技術を確立しました。現在 NASA が中心となって進めている GMT 計画は今までの巨大天体望遠鏡が直系 8m 台の主鏡を一枚使っていたものを、7 枚合わせて作動させるというとても面白いプロジェクトです。これによりブラックホールや暗黒物質、原始惑星、初期の宇宙などほとんど観測されなかったものを観測できるようになるそうです。日本も 1/4 の費用を負担している TMT 計画が有り、



湯川愛里会員



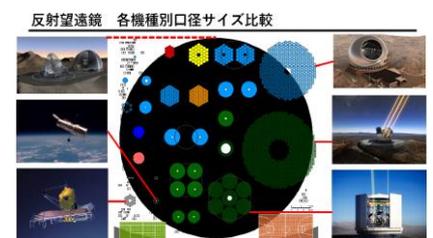
それは奥行き約 1.5m、厚さ 4 cmの鏡を 6 角形に切りそれを 492 枚合わせ、補正の技術を使って揺らぎを無くすものを造っています。稼働は 2026~27 年を目途としています。ヨーロッパがチリに建設中の E-ELT 計画は TMT 計画と同じサイズの鏡 800 枚を合わせたとてつもなく大きな天体望遠鏡です。主鏡の大きさの比較を見て頂くといかに大きいか分かりますが、我々が見たことのない宇宙を見ることが出来るようになるはずですので、かなり話題になるかと思えます。今まで出てきた鏡というのが私が関わっていた特殊ガラスの一種でして、直径 8mを超える主鏡の製造は溶解炉で 1300 度以上に溶かした硝材を回転台の上に設置した円筒形の容器に流し込み、上蓋を乗せた後、1 分間に 5~7 回転させ、約 800 度にまで下がる課程で遠心力により凹面を形成します。数カ月の徐冷期間を置いた後、両面研磨の大工程を経て凹面側にアルミを蒸着して主鏡の完成となります。このようにして作られた巨大な鏡を天文台のある山頂まで運ぶための重機・車両・道路等が大規模なものとなり、環境問題との狭間で建設計画が大幅に遅れる要因となっています。2020 年代に相次いで実現する超巨大天体望遠鏡の建設により、他の観測手法である電波望遠鏡や大規模干渉計と広範な連携を強化することで、これまでに判明した宇宙誕生 137 億年の歴史を大きく塗り替える事実が発見されることは間違いのないところであり、大いに期待したいところであります。



すばる望遠鏡 ハワイ・マウナケア山頂



宇宙望遠鏡 「ひとみ」



反射望遠鏡 各種別口径サイズ比較

◇ 講評

山本教夫会長

湯川さん、なかなか聴けないお話、有難うございました。私もアポロ 11 号による天体ブームから銀河鉄道 999、STAR WARS 等と、宇宙に想いを馳せた世代ですので、とても楽しく聴かせて頂きました。後半のガラス工場の所も、前職がメーカー勤めであったことからモノが創り上げられるシーンは心が躍りました。今日は私が一番楽しんだかもしれません。

◇ 閉会の点鐘

山本教夫会長



山本直道会員



岩田美智恵会員



木村圭仁朗様

《今後の主な行事予定》

◇ 8月 9日 納涼例会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 6月28日 休会
- ◇ 7月 5日 12:30~13:30
- ◇ 7月12日 12:30~13:30